

愛する町田・鶴川のために！

長 谷 川 けい すけ

はせがわ 圭亮

NEWS Vol.5 無所属
2025年11月発行

お手にとっていただきありがとうございます。

「町田市のごみ問題」

はせがわ圭亮のNEWSも5号目を迎えました。Vol.1では「政治を志したきっかけ」、Vol.2では「鶴川駅への急行停車と町田市の財政」、Vol.3では「返済不要の給付型奨学金の導入と鶴川地域へのコミュニティバス導入」、Vol.4では「福祉の町田を創り上げた大下市長の実施した政策と今日の町田の福祉の課題」を特集として書いてまいりました。

Vol.5の今回は市民にとって誰もが切っても切り離せない「ごみ問題」を取り上げます。そもそもなぜ「町田市のごみ」が有料化されているか? や、バイオエネルギーセンターでの3度にわたる火災、2026年4月から市全域で始まる容器包装プラスチックの分別収集などに触れています。ぜひ裏面もお読みいただければ幸いです。

ミニ集会「町田・鶴川まちトーク」を行います！

町田や鶴川のこと、町田市に対するご意見ご要望に関して少人数の車座形式で話し合う会「町田・鶴川まちトーク」を行います。ぜひご参加いただければ幸いです。

- ①【鶴川】12/6(土)10:00-11:00
@ポプリホール鶴川会議室
- ②【町田】12/8(月)19:00-20:00
@町田市民ホール第1会議室
- ③【鶴川】12/13(土)10:00-11:00
@真光寺3丁目町内会館
- ④【鶴川】12/18(木)19:00-20:00
@ポプリホール鶴川会議室
- ⑤【鶴川】12/27(土)14:00-15:00
@鶴川団地付近

お申し込みはこちら
事前予約制
↓↓↓



(詳細場所は参加申込者様に個別でお知らせいたします)



はせがわ圭亮（長谷川圭亮）プロフィール

1997(平成9)年2月28日生まれ

真光寺3丁目在住

けいしょう幼稚園・鶴川第四小学校 出身

日本大学文理学部社会学科 卒業

日本大学大学院文学研究科

社会学専攻社会学コース 中途退学

衆議院議員秘書・参議院議員公設秘書・

私立学校職員を経て町田市内で活動中！

社会調査士・防災士 上級救命技能認定

骨髄バンクドナー登録

真光寺3丁目町内会 2025年度副会長

中学軟式野球チーム

「多摩スーパースターズ」球団代表

一般社団法人町田青年会議所

町田市倫理法人会

町田交通安全協会鶴川第1支部

町田市消防団第三分団第六部

町田市赤十字奉仕団 NPO法人町田演劇鑑賞会

日本大学町田桜門会 他地域諸団体に所属

趣味：街歩き・

サッカー観戦(FC町田ゼルビアファン)・映画鑑賞・

乗り物乗車(電車、バス、飛行機)



町田市最高峰・
草戸山に登りました



所属する町田市
倫理法人会で会員
スピーチを行いました

地元・鶴川駅では毎週
月火水金の朝にご挨拶
しております

発行：はせがわ圭亮（けいすけ）

TEL:090-4931-0839

Email:keisuke0228hasegawa@yahoo.co.jp



←←←

はせがわ圭亮
公式HP



←各種SNSアカウン
ト！友だち追加・フ
ォロー・いいねお待
ちしています。

特集：町田市のごみ問題に関して

Q1.そもそも町田市はなぜごみ袋が有料なの？ごみ袋を有料化して効果はあったの？

町田市では、最終処分場の逼迫など厳しいごみ問題があります。この現状を踏まえ、ごみの減量・資源化の推進、公平な負担システムの導入等を目的として、指定収集袋制による家庭ごみ等の有料化を実施しています。有料化の結果、2005年時点で156,400tあったごみが2024年時点で111,267tと約29%減となりました。しかしながら1日1人あたりの総ごみ量は708gで多摩26市中22位、総資源化率は31.1%で25位と、他市に遅れをとっているのが現状です。

Q2.そもそも町田市の家庭ごみ袋は有料だけどころなの？他市の状況はどんな感じ？

10枚あたりの 家庭用ごみ袋の金額	ミニ袋 (5リットル相当)	小袋 (10リットル相当)	中袋 (20リットル相当)	大袋 (40リットル相当)
燃やせるごみ	80円	160円	320円	640円
燃やせないごみ	80円	160円	320円	640円
容器包装プラスチック (2026年4月～市全域収集)	なし	80円	160円	320円

東京23区/多摩26市及び神奈川県近隣市のごみ袋の価格	40リットル相当大袋/ 可燃ごみ/10枚あたりの価格
東京23区、横浜、川崎、相模原、座間、厚木	無料
青梅、昭島、福生、多摩、羽村、あきる野、西東京	600円
町田 、大和	640円
東村山	720円
八王子、三鷹	750円
立川、武蔵野、府中、小金井、小平、日野、国分寺、国立、狛江、東大和、清瀬、東久留米、武蔵村山、稲城、海老名	800円
調布※45リットル相当の袋	840円

Q3.バイオエネルギーセンターで火災が発生したって本当？

2022年2月、2022年6月、2023年11月の3回にわたり火災が発生しました。原因としてはリチウムイオン電池の混入の可能性が高く、復旧と安全対策費用に約14億円の費用がかかっています。



写真は2022年2月21日に発生した火災の様子です。

引用:町田市HP https://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/kankyo/kasai/bio-energycenter_fire.html

Q4.2026年4月から市全域で1種類ごみ袋が増えるって本当？

はい、本当です。現在、JR横浜線以南地域で行っている容器包装プラスチックの分別収集(ピンク色の袋)を市全域で開始します。収集日は週1回、基本として「プラマーク」の表記がされているものはピンク色の袋に入れることとなります。



引用:町田市HP <https://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/kankyo/gomi/youripura/youkipuranodasikata.html>

Q5.はせがわのごみ問題に関する考え方は？

ごみの減量をしなければならない中でごみ袋の有料化は一定の効果があったと言えます。しかしながら町田市よりもごみ袋が安く、1日1人あたりの総ごみ量が少ない西東京市(町田市708g,西東京市587g)などの事例を踏まえると、工夫次第ではさらに減量できると考えます。

バイオエネルギーセンターでの火災を受けて、燃やせないごみに混入したリチウムイオン電池を手選別で取り除くために、作業員を5名から8名に増員し、体制を強化している(市議会令和7年9月定例会)とのことですが、手選別では限界があり、透過X線およびAIを組み合わせた機械の導入を進めていく必要があるとも感じます。町田市は環境先進都市「ゼロカーボンシティまちだ」を宣言していることから、名実ともにごみ問題に真剣に取り組む自治体となるよう求めるとともに、私自身も情報収集や研究を続けてまいります。